

宗田理展

—『ぼくらの七日間戦争』ができるまでとそれから—



撮影：水谷積男

宗田 理 (そうだ おさむ)

1928年、東京都生まれ。シナリオ制作、編集者などを経て、1979年直木賞候補となった社会派推理小説『未知海域』で作家デビュー。『ぼくらの七日間戦争』をはじめとする「ぼくら」シリーズは中高生を中心に圧倒的人気を呼び、当時シリーズ総部数2000万部の記録を達成し大ベストセラーに。現在も精力的に執筆活動を続け、1999年より豊橋ふるさと大使を務める。

伊達 百合 (だて ゆり)

1975年、角川書店に入社。以来30余年、書籍編集に携わる。文芸・ノンフィクション分野を中心に文庫、単行本、新書など数百点を世に出した。1987年に宗田理氏の担当者となり63冊、書き下ろし文庫本を製作する。2010年より角川文化振興財団事務局に勤務、(株)KADOKAWAの新規文化施設「ところざわサクラタウン」(仮称)の開発などを担当している。

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

〒461-0014 名古屋市東区榎木町3丁目23番地
Tel & Fax 052-936-3836
<http://www.futabakan.jp/>



宗田理氏は昭和3年東京に生まれ、今年で米寿を迎えました。幼少期を愛知県西尾市で過ごし、終戦後、日本大学芸術学部映画学科に進学。のちに愛知県豊橋市に転居し、現在は名古屋市長区在住です。

代表作『ぼくらの七日間戦争』は1985年に刊行、3年後に映画化され、今なお少年少女を中心に読み継がれています。今回の企画展では、現在も第一線で活躍する宗田理氏の、これまでの幅広い創作活動やその背景などを、文学作品やゆかりの資料の展示とともにご紹介します。

トークイベント

「宗田理の作品と背景」

- 対 談：宗田理 × 伊達百合(元編集担当者)
 - 日 時：平成28年8月27日(土)
13:30~15:00
 - 会 場：文化のみち二葉館 1階大広間
- ※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席

★期間中、宗田作品が大集合!手に取ってご覧いただけます★

交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車
 - 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
 - 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
 - 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
 - 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分
- ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



当日利用したドニチエコきっぷ等の一日乗車券を提示するだけで、名古屋市内の施設・飲食店などで割引などの特典が受けられます!

※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごや得ナビ」をご覧ください。

おかげさまでドニチエコきっぷは発売10周年

ドニチエコきっぷ・一日乗車券を利用してご来場の方は、

文化のみち二葉館入館料割引! 一般 **200円 ▶ 160円**

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりとライン(高架区間)、名鉄バス、あおなみ線、リニモでは利用できません。

